

令和3年度第1回みきっ子未来応援協議会
就学前教育・保育部会の取組

日時 令和3年7月15日（木）午後7時～8時30分

出席者 部会委員8名 事務局4名

議題 （協議事項）

1. 幼保一体化計画の見直しについて
2. 育児休業に係る保育認定について
3. よかわ認定こども園民間運営の進捗状況について

（主な意見・感想）

1. 幼保一体化計画の見直しについて

- ・ 0～2歳児が、予想ほど減っていない理由はなぜか、就園希望がふえているのはなぜか、根本的原因がわからないと、また読み違いが生じる。
⇒保護者負担金の50%軽減（0～2歳児）や保護者の「早めから保育を受けさせたい」という要望、夫婦共働き家庭が多くあること等が原因にあると考えられる。
- ・ 議会では、1号認定3歳児の話が中心だったが、今回の部会ではその議題は挙がっていない。0～2歳児が入れないよりも深刻な問題である。また、2号認定で入園できないため1号認定で入っているケースもある。本当に必要な人に対してフォーカスをあてる必要がある。
⇒1号認定3歳児については、定員等について、現在保育協会と調整中であるため、志染保育所と小規模保育施設の案件を先行して進めている。
- ・ 幼稚園で3年保育をして1号認定3歳児を預かるというのが難しいのであれば、せめて預かり保育をしてほしい。近隣市に劣らないサービスを提供してほしい。
⇒幼稚園の保護者に対して、先日、アンケートを行ったので、今後きちんと精査し、集計結果を報告する。
- ・ 医療的ケア、支援の必要な園児の保護者は、就園を考える中で不安を抱えている。また、同年齢の集団の必要性が言われている。3歳前後で、そういった不安がおこりやすい。

2. 育児休業に係る保育認定について

- 育休認定をすることで、ますます入れない園児が出てくるのではないかと。
- 入所の際、上の子がいると入りやすい、第1子だと入るために苦労すると聞く。
- 窓口で、申請される家庭の状況や内容についての話を聞き、今後も保護者の思いに寄り添ってもらいたい。
- 「育休認定を希望する方」としたことが良かった。保護者支援だけでなく、子ども支援と両面から考えないといけない。
- 入園待ち児童の問題や3歳1号の受入れ確保、育休認定での受入れは保育士不足が解消することで解決する。保育教諭の確保を頑張ってもらいたい。
- 定員120%の状況で受け入れができていていると考えるのはやめてほしい。定員は100%で考えるべき。
- 市に保育士をストックして、派遣することはないのか？

3. よかわ認定こども園民間運営の進捗状況について

- 特に意見なし。

4. まとめ

- 志染保育所と小規模保育施設について、幼保一体化計画の見直しに先駆けて施設運営の存続・延長を協議し、了承を得た。
- その他3歳1号認定児の件、預かり保育等については、今後も検討を継続し、今年度中には決定したく、再度部会及び全体会を開催し、その方向性についてお示ししたい。